

第2回役員会

秋晴れのもとキンモクセイ香る福島で開催

平成21年9月24日、心地よく晴れた青空の下、黄金色の稲穂が揺れる中を疾走して新幹線は福島駅に到着。プラットホームに立つと古閑裕而生誕100年を記念して「栄冠は君に輝く（全国高等学校野球大会の歌）」のメロディーが迎えてくれた。東口に出て9番乗り場から循環バスに揺られ15分余りで「文化センター入口」に。信夫山を目指して歩きはじめるとキンモクセイのほのかな香り。7分ほどで福島県文化センターに到着した。役員会は文化センター1階の会議室で行う。

冒頭、福島県文化センター及び歴史資料館を運営する財団法人「福島県文化振興事業団」の富田理事長さんからあいさつをいただき開会。事務局案に従い報告・協議を行った。その概要は次の通りであった。

1 報告

- (1) 第1回役員会報告
- (2) 会員の現況及び会費納入状況



役員会

- (3) 副会長事務局・委員会報告
 - ①副会長事務局
 - ②大会・研修委員会
 - ③調査・研究委員会
 - ④広報・広聴委員会
- (4) 地域担当理事報告
 - ①関東部会
 - ②近畿部会

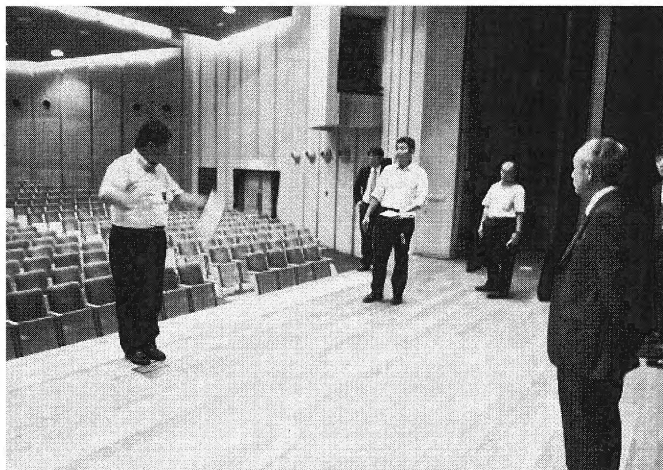
2 協議

- (1) 平成21年度補正予算について
- (2) 第35回全国大会について
- (3) 平成21年度総会について
- (4) 大会における新型インフルエンザ対応について

3 その他

- (1) 第37回・第38回全国大会開催予定地について
- (2) アーカイブズ関係機関協議会について
- (3) 第3回役員会について

主な協議内容は①補正予算の審議と来年度予算編成の方針。②全国大会の運営。特にまん延するかもしれない新型インフルエンザへの対応。③地方公文書館拡充に関する基礎的調査の実施。④全史料協のホームページの管理。⑤アーカイブズ関係協議会への参加。⑥機関会員の退会などに伴う今後の全国大会開催予定地や役員の選任変更など。11月18日に開催する福島大会に向けての準備と全史料協の組織・運営に係る問題について話し合いを行った。新体制に移行して半年、公文書管理法が成立して初めての役員会。新たな課題も見えてくる中、次期担当への円滑な引継ぎをも見据た取組を確認しあった会議であった。



全体会場となる小ホール



歴史資料館見学

翌25日は大会当日使用する文化センターの各会場での打合せを行う。総会や研修会などの会場、関係者の控室や機関・企業の展示場所などを確認した。次いで、福島県歴史資料館の内部見学を行った。先ず、県指定重要文化財となっている明治期の地籍図と土地台帳をはじめ貴重な資料を保管している収蔵庫を見学した。今年は日程短縮を行ったため、施設見学は館の取組の紹介とあわせて研修Cで実施する。

また、1階の展示室ではNHK大河ドラマ「天地人」の放映にあわせて1月から「“天地人”の時代—ふくしまと直江兼統—」の企画展を実施している。現在、最終のシリーズとして「“天地人”ふくしまの関ヶ原」を開催中で、大会期間中も休憩時間等を利用して、大河ドラマとは違った直江兼統像をみることができる。

富田理事長さんをはじめ福島県文化振興事業団の皆さん、とりわけ福島県資料館の山内さん・本間さんには今回の役員会だけでなく大会準備のため多大なご労苦をおかけしている。感謝を申し上げるとともに、万難を排して一人でも多くの方が福島に集い大会が成功裏に終わることを祈りたい。

〔徳島県立文書館 計盛眞一朗〕